

## 平成 25 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（恋ヶ窪図書館）

日 時 平成 26 年 1 月 29 日(水) 午前 10 時 30 分～12 時  
場 所 恋ヶ窪公民館 会議室  
参加者 市民 6 人 (男性 3 人 女性 3 人)

### 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料「平成 24 年度国分寺市立図書館の状況」に基づき説明。  
本多図書館で月曜祝日及び振替休日の試行開館の実施。  
小平市との相互利用を平成 25 年 11 月 1 日より開始。  
障害者・高齢者サービスとして大活字本・拡大読書機の提供。  
「教育 7 DAYS」期間中の 11 月 5 日～10 日に「家庭読書の日」を設け、  
「としょかん福袋」（幼児用絵本 3 冊セット）を貸出。

### 2. 図書館資料長期延滞者に対する貸出・予約等利用制限について

図書館：図書館資料を長期延滞している利用者に対し、貸出・予約の制限をすること考えている。ご意見を伺いたい。

意見：歳を取ると本を読むのに体力がいる。じっくり読みたい本は、他の参考資料も読みたいが、なかなか借りられないこともある。内容に重みのある本をやっと借りられたりすると、うっかり返却日を忘れてしまうことがある。図書館から期限が過ぎていると教えてくれるとありがたい。遅れているから他の本は貸さない、というのは公共施設としてはやらない方がいい。予約冊数オーバーについて、何回も言われたがとても不快。借りる側の責任ばかり。そんなに厳しくしなくてもいいと思う。

意見：延滞している利用者に対して貸出制限をかけるのは正常な処置だと思う。他の人の不利益になることなので、徹底してほしい。CDを傷つけた場合など弁済の請求も必要だと思う。

図書館：2週間の貸出期間を過ぎると、すぐに制限をかける案ではない。

意見：データだけで、実際にその本を見ずに、延長手続きをするのはおかしい。本当にその人がその本を持っているのかどうかわからないではないか。

図書館：タイトルなどを確認しながら手続きをしている。延長は1回のみ。制限をかけることで、より多くの利用者に資料をスムーズに提供できるようにしたい。延長はインターネットでも可能。

意見：延滞に関するデータがあれば知りたい。

図書館：2週間の延長後も延滞している方は、6%程度。督促ハガキを出すと、

0.6%程度に減る。1日遅れただけでの制限は考えていない。

意見：資料のジャンルによっても対応を変えるべきでは？研究資料などは短期間では読み終えられない。予約できる冊数は、12冊は多すぎるのではないかな？予約した本がまとめて届くと2週間では読み切れない。

意見：12冊予約しても、半分ぐらいはなかなか届かないことも多い。

意見：サービス機関であっても、使う側がマナーを守らないといけないと思う。

意見：借りた本も予約した本も自分で記録を作って管理している。CDはなかなか新規購入してもらえない。民謡などのシリーズになっているCDは、まとめて貸出してもらえるとありがたい。ルールは必要だが、拘子定規になるのも考えもの。臨機応変に、温かく対応してもらいたい。

図書館：CDはもう入手できないというものも多い。CDも本も、汚してしまった、傷をつけてしまったときは、弁償をお願いしている。

意見：弁償してもらおうケースはどのくらいあるのか？手に入らないものは？

図書館：1館で50、60件あるときもある。水濡れの場合は程度が軽ければ、その場ですぐに弁償依頼はせず、修復を試みたうえで対応している。入手不可の場合は同等金額程度の資料で弁償をお願いしている。皆さんに気持ちよく利用していただけるようにしていきたい。

意見：貸出制限については、どこの市でも同じような状況なのでは？

意見：図書館だより等に記事は載せているか？

図書館：図書館の本を大事にしてください、と呼びかけている。貸出制限は、多摩26市のうち21市がすでに始めている。

意見：うっかりもあれば、けがをしたり、入院したりすることもある。延滞するのは悪意が理由ばかりではない。わずか数パーセントの人のために取り締まるようなことはしないでほしい。

意見：図書館職員の接し方や蔵書の内容、並べ方で、利用する図書館を選んでいく。図書館員の利用者への接し方はとても重要だと思う。

### 3. 図書館サービスについて

意見：新刊本をある程度の期間、図書館で購入しないという選択も必要。たくさんの人が図書館から借りる予約をし、そのせいで本を買わなくなり、出版業界に影響をおよぼしている。「新刊本は1年間図書館に入れない」というぐらいのことを、国分寺市が全国に発信していったらどうか。

図書館：予約が多い本でも、全館で15冊以上は買わない等購入数に制限を設けている。人気のある本はかなりお待たせしている。議論はあるが、図書館が何冊も購入するものは割合としてほんの一部。小さな出版社などでは、図書館が購入することによって、本が売れるということもある。

意見：自分で買わず、リクエストして図書館に置いて「大手出版社以外からもこういう本が出版されている」と他の人に教えたいという思いもある。

図書館：ここ数年は出版点数が非常に多くなっている。小説など一部の予約の多い本以外は市内 1 冊に調整をしている。図書館の職員が会議でどの本をどこの館に置くか決めている。

意見：雑誌がある時期から激減してしまった。ファッション誌はたくさんあるのに、読みたい雑誌がなくなってしまった。相反するような論を載せている雑誌を並べて置いたほうがいい。「暮らしの手帖」などはいつ行ってもないのに、こんなの読まれるのかと思うようなものが棚に並んでいる。

図書館：雑誌の予算も限られている。市内でなるべく重ならないように、かつタイトル数は多くなるように置いている。女性ファッション誌は今、かなりの点数が出版されているが、図書館としては選んで買っている。他の館から取り寄せを依頼するなどして利用してほしい。雑誌は年間契約なので、年度途中から購入することはできないが、参考にさせてもらうので、要望を出してほしい。

意見：「この雑誌は、今年度はこの館で、次年度は別の館で」というように置くことはできないか。

図書館：バックナンバーの問題もあるので、それはむずかしいと思う。

意見：配付された統計資料（平成 25 年 3 月 31 日現在）の新しいものがほしい。来場者数や、新聞や雑誌を読みに来る人数は把握していないのか。入口にセンサーを取りつけければ簡単にできる。武雄市図書館などの例もあり、図書館の流れも変わってきている。図書館にはこれだけの人が来ているとひと目でわかるような数字があれば、上にも示しやすく、運営方法をめぐる論議に説得力が出る。また電子書籍にすれば延滞の問題もない。

意見：新聞の取り合いになる館もあると聞いた。

意見：武雄市図書館には、カフェがあって良いと思う。本を汚してしまったというケースはほとんどないらしい。

意見：図書館の本は、髪の毛や食べかすがはさまっているような本が多い。

意見：館内にポスターなどを貼って啓発しては？

意見：「こんな図書館にしたい」と市民サイドで話しあって、盛り上げていけるといい。図書館ができないことを市民がどれだけ手伝えるのかを考えていける場があるといい。恋ヶ窪図書館の利用が減っているが原因は？

図書館：震災の影響や社会全体が落ち着かないせいもある。棚の入れ替えの臨時休館もあった。

意見：新聞コーナーは高齢者、参考資料コーナーは若者が勉強と、利用が固定している。図書館が活性化されるような話し合いを、市民を巻き込んで行っ

てほしい。

意見：寝たきりの高齢者へのサービスなども検討しては。

図書館：大活字本は少しずつ買い足している。拡大読書機は、もとまち図書館と光図書館にある。郵送貸出サービスもしている。送料は図書館が負担。声の図書や点字資料の提供もしている。

意見：職員がサービスをよく理解してほしい。

意見：自分の書齋と間違えているような利用者がいる。雑誌架で「邪魔だ」と蹴られたことがある。要望はどんどん職員に声をかけるようにしている。

意見：声の図書は障害者だけでなく、高齢者もサービス対象にならないか。

図書館：制作段階で「障害者のために」ということで著作権者の許諾をとっているため難しい。一般に流通しているものは提供できるので検討したい。

意見：許諾をとるのは図書館が一番いいルート。そういう部門を作ってしっかりやってほしい。

意見：市で発行しているものはすべて電子書籍化してはどうか。

図書館：市の広報担当で電子書籍化を検討している。ふるさと文化財課で所蔵している写真等を図書館のホームページで見られるようにと考えている。一部地図や図書館だよりは既に電子化している。

意見：職員がカメラに向かってPRをするなど、市の催しを動画で見られるようにすると身近になる。図書館でもやったらどうか。費用はそんなにかからないはず。そういう流れにのると、すぐ電子化ができると思う。

意見：うちの中においてパソコンの前に座っていればなんでも済む世界だけでなく、アナログも必要。

意見：アナログも同時にやる。市民も参加していく方向で。

意見：そういうサークルを図書館が支えていくといいのでは。

意見：高齢者同士のつながりになるし、「あの人最近サークルに来てないけど、どうしたのかな」など、見守りにもなる。

図書館：図書館を核にしたコミュニケーションということ。他市でも始まっているので、国分寺市でも考えていきたい。

意見：都立の図書館が市内に建設中とか。良かった。

図書館：国分寺市の図書館の本の受け渡しをしたいと要望を出したが、色よい返事をもらえなかった。

意見：都立多摩図書館では雑誌は網羅している。

図書館：国分寺市の図書館を窓口として、都立図書館から資料を借りることができるので、利用してほしい。雑誌や児童書もたくさんある。

図書館：本日いただいた図書館へのご意見については、今後検討していきたい。本日はありがとうございました。

## 平成 25 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（光図書館）

日 時 平成 26 年 1 月 29 日（水） 午後 5 時～6 時 30 分  
場 所 光公民館 小会議室  
参加者 市民 1 人（男性 1 人）

### 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料「平成 24 年度国分寺市立図書館の状況」に基づき説明。

本多図書館で月曜祝日及び振替休日の試行開館の実施。

小平市との相互利用を平成 25 年 11 月 1 日より開始。

障害者・高齢者サービスとして大活字本・拡大読書機の提供。

「教育 7 DAYS」期間中の 11 月 5 日～10 日に「家庭読書の日」を設け、

「としょかん福袋」（幼児用絵本 3 冊セット）を貸出。

### 2. 図書館資料長期延滞者に対する貸出・予約等利用制限について

図書館：図書館資料を長期延滞している利用者に対し、貸出・予約の制限をすること考えている。ご意見を伺いたい。

意見：ある程度、強制力があつた方がよい。ある一定期間の猶予があればよい。

図書館：貸出期間が 2 週間、予約がない場合は 2 週間さらに延長できる。一定期間後、なかなか返却をしてもらえない利用者には、新規の貸出や予約を制限したい。予約で次の利用者が待っている。

意見：私も 1 巻から借りて読みたい本があつたが、貸出中で、2 巻から読んだことがある。ある程度の強制力はやむを得ない。

図書館：うっかり忘れていて悪気がないこともある。一定期間を設けて、早く返してもらおう働きかけは必要である。26 市中 21 市ですすでに制限している。

意見：ぜひ、具体的に進めてほしい。

### 3. 図書館サービスについて

意見：図書に、鉛筆に限らずペンで、書き込みがあるものを見受ける。消す方法があるのか。

図書館：ペンの場合は、本の活字まで消えてしまう。困っているのは、蛍光ペンで、非常にプライベートのもののように使われている。図書館だよりで図書館の本を大切に扱ってほしいとお願いはしている。

意見：私などは、メモをとっている。読書記録にもなる。公共の本に書きこむことは、許されないことである。

図書館：公共の図書資料の利用マナーを理解してもらいたい。返却時に確認をしているが、混んでいる時は、チェックもでききれない。気づいたものは、カウンターにお持ちいただきたい。

意見：全集に、欠本が2冊あった。図書購入は、新本だけの購入と知っている。

図書館：補充しなければと思っている。多摩地区の図書館で、寄贈等があればよその市の欠本状況も調べている場合もあり、市内でも、寄贈による欠本補充をしている。市の契約書店は、基本的には新刊の購入だけになり、今後の課題である。市で古本を買えるか研究していきたい。気が付いたらおしえていただきたい。補充していくようにしたい。

意見：参考資料室の閲覧の机が4人掛けで並んでいるが、大きな画集を見る時に、ペラペラめくったりすると、隣の人が勉強に集中できないのではないかと思います。料理の本をめくったりする時も気になる。

図書館：狭い場所で、細長い変形スペースのため、車いすが通ることを考えると机の配置が難しい。受験シーズンには、席がいっぱいになる。向かい合わせにするとか、少し離して独立させるとか、大型本優先の机を用意するとか、考えていきたい。

意見：高齢者と子どもが一緒にいるスペースも用意したらどうか。予算の問題や、スペースの余裕がないもの理解しているが、児童コーナーの丸テーブルのあたりにできないか。

図書館：児童コーナーの机のところは特に狭く難しいと思う。可能性としては歴史コーナーの長椅子のところに、閲覧机をおくことができるかと思う。

意見：これからは、子どもの時代である。子どもを邪魔しないように、図書館で高齢者と交流できるようなことができたかと考えている。

図書館：国分寺市の図書館の中で、光図書館が一番狭い館であるが、検討する。

意見：子どもの利用が増え、図書館に子どもが多くなってきているのか。

図書館：平成20年から子ども読書活動推進計画を策定し、各館で乳幼児対象と幼児対象の2種類のおはなし会を行っている。講演会、読み聞かせ講習会、映画会など、市内全館で計画に沿って拡大してきた。

意見：同窓会で、学力試験の事が話題になった。自分の地元は昔は最低だったが、今は県で10番に入るそうだ。

図書館：読解力が学力の基礎である。読書は一生の力である。学校では朝読書に取り組んでいる。3年前から各学校に毎日学校司書を配置するようになった。本の提供や必要な本は公共図書館から借りるようになった。システムも連携できるようになった。

意見：音響は、本多、並木にある。CDを聞いたりして、リラックスできる。

図書館：最近、CDショップの立ち聞きとか、試聴する方法も色々な方法が考えられる。ただし、ヘッドホンから音から漏れるとか、図書館の場合は工夫が必要である。今後の検討事項である。

意見：図書館に来たら、リラックスできる。そのようにしてもらいたい。

図書館：温度設定はどうか。

意見：夏暑く、冬寒過ぎる。他市の文化施設に行くと温かい。

図書館：場所によって、温度設定できないので、難しい。広いところは、細かい設定ができない。

意見：光プラザにも、図書室があるが関係しているのか。

図書館：男女平等人権課が管理するもので、独立して貸出も行っている。市役所全体では、様々な部署で図書を所蔵しているが、公共図書館を通じて貸出できれば良いと考えている。ふるさと文化財課にも資料が多い。いつかそうになったら良いと思っている。

図書館：本日いただいた図書館へのご意見については、今後検討していきたい。本日はありがとうございました。

## 追記

1月30日夕方、1日間違えて利用者懇談会があると思い利用者1名来館。

意見：立川市との相互利用を進めてほしい。

## 平成25年度 国分寺市図書館利用者懇談会（もとまち図書館）

日時	平成26年1月30日（木）	午後4時～5時30分
場所	もとまち公民館	実習室
参加者	市民7人（男性2人 女性5人）	

### 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料「平成24年度国分寺市立図書館の状況」に基づき説明。

本多図書館で月曜祝日及び振替休日の試行開館の実施。

小平市との相互利用を平成25年11月1日より開始。

障害者・高齢者サービスとして大活字本・拡大読書機の提供。

「教育7DAYS」期間中の11月5日～10日に「家庭読書の日」を設け、

「としょかん福袋」(幼児用絵本3冊セット)を貸出。

## 2. 図書館資料長期延滞者に対する貸出・予約等利用制限について

図書館：図書館資料を長期延滞している利用者に対し、貸出・予約の制限をすること考えている。返却を促し、他利用者の利便性を図りたい。ご意見を伺いたい。

意見：利用者用端末機を利用した際、「カウンターにおたずねください。」と表示が出たことがある。それが長期延滞資料だったらしい。

図書館：本多図書館で一括して3ヶ月以上の延滞資料について督促ハガキを出しており、ほとんど返却される。各館では2週間の貸出後、次に予約がなければすぐには督促をしないが、予約がある資料については一定期間を過ぎれば連絡している。

意見：利用制限をかけていいと思う。返す方法はたくさんあり、返せるはずだと思う。

図書館：最近国分寺駅北口のブックポストの利用が増えている。いずみホールにある大きな2つのブックポストも夏休みになると満杯になる。予約のない資料の督促を4週間後にすると、量が多く郵送料がとてかかる。新システム導入後、メールでの督促も考えていきたい。

意見：返さない方がおかしいので、ルールは必要だと思う。次に借りたい人が借りられない。図書館としても蔵書管理が大変になる。どうやって利用の制限をかけていくのか難しいが、きちんとすることが大切。周知はどうしていくつもりか？

図書館：利用の制限は、新システムで自動的に制限をかけるようにする。

意見：その本の質によって、2週間では読み切れないものもある。本の内容によっては、勉強などに使うなどして日数が必要なものもある。本の内容によって考えることができるのか。

図書館：雑誌などは貸出期間が3日とか7日でもいいという考えのご意見をいただくこともある。今のままで不都合な方もいるので、色々工夫して、見直しの必要もあるかと思う。

意見：4週間以上借りている方に、その前にメールなどで連絡しないのか。

図書館：1ヶ月で督促すると、かなり量が多くなる。新システム導入後はメールマガジンの発行など図書館からお知らせを出すことも考えている。利用制限をする場合は、市報やチラシやホームページなどで十分周知して始めていきたい。

意見：異議なし。制限ありでいいと思う。



### 3. 図書館サービスについて

意見：児童サービスについては大切なことなので、おはなし会や読みきかせなどは積極的に行ってほしい。年度当初の学校訪問などでもPRが必要。

図書館：年度当初より学校図書館司書と連携している。貸出返却サービスと同様に、おはなし会などは基本的なサービスであると考えている。

意見：雑誌・新聞の所蔵数についてはもっと要望はないのか。他の館にあるものを読みたい時、別の館まで行くのはどうか。あちらにあってこちらにないというのはどうか。

図書館：現在各館80タイトルぐらいを所蔵している。なるべく総タイトル数を維持するように、複数館で所蔵しているものを減らした。雑誌の種類はスペースや予算上たくさん置けないので、タイトル数を多くするために市内で分担している。それぞれの館が同じものを持つのは難しい。

意見：もとまち図書館はそれなりに人が集まるが、全体的に利用者懇談会の参加者が少ない。いつも同じメンバーでは同じ意見にしかない。もっと色々な人を呼び込んで意見をもらってほしい。

意見：アウトソーシングについて、本当に図書館は大丈夫なのか。委託職員へ市職員はアドバイスや指示ができないだろう。委託職員の質の問題もあるが、スムーズにいくような体制はできるのか。委託は直営より経費が削減できるのか。

図書館：命令指示は責任者を通じて行うことになるので、情報の共有化は大切だと思う。経費については、すぐには直営よりも委託の方が経費削減を図れるとはならない。ただし、今後サービス拡大や時間延長を考えた時に、長い目でみると直営で人を増やして行うよりは委託の方が安くなると考える。12月の教育委員会定例会で実施方針が決まり、今後行革推進本部会で検討される予定。実施方針が通ったら実施計画を策定する。1年に1館ずつ、スムーズに移行できるか検証しながら進めていく。

意見：推理小説等を棚にまとめ置いてもらえると便利なので、そういうサービスの工夫も考えてほしい。純文学も推理小説も両方書く著者もいるので、分けてもらおうと読みやすい。

意見：同じ作家で棚がバラバラに分かれると、探しづらいのではないか。

図書館：展示やリストなど、工夫できるか考えてみたい。

意見：自分の子どもは小学校4年生で、今まで本の検索ができていたので、図書館の利用者用端末機を使えていた。ところがテーマなどで検索した時に、児童書だけでなく一般書まで一覧に出てきて、量が多くてわからなくなり、少し自信を失くしてしまった。利用者用端末機で子ども

用とあるが、あまり意味がないのでは？

図書館：タッチパネルの利用者用端末機は無理だが、キーボードができれば児童・一般の区分けが検索時にできる。いただいたご意見を、新システムの中で工夫できればと考える。

意見：子どもにとって自分でできた達成感が大切なので、楽しかったとか自分一人でできた思いや体験があるといいと思う。そのことで一度勉強や部活などで図書館を離れても、また来てみたいと思えるのではないか。

図書館：社会科見学で、図書館クイズとして本探しなどをしてもらっている。そんな中で身近に感じてもらえていると思っている。今後はどのような検索のかたちいいだろうか。

意見：きっちりとそのタイトルだけでなく、あいまいなタイトルも調べられると嬉しい。

意見：児童文学講座は以前は年5回ぐらいの連続講座でして、準備会から市民が参加して行っていたが、今後そのような形にはできないのか。

図書館：15年か16年前まではそのような形をとっていたが、予算の確保も十分ではないので、今は難しいと思う。

意見：展示についての年間計画を教えてください。

図書館：3月自殺防止、4月自閉症啓発、6月環境、8月戦争と平和、9月自殺防止、11月男女平等など。市とタイアップしているので、図書館でも本の展示をしていることを市報に載せられるといいと考えている。今後関係部局と連携しながら行っていきたいと考えている。

図書館：本日いただいた図書館へのご意見については、今後検討していきたい。本日はありがとうございました。

## 平成 25 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（いずみホール）

日 時	平成 26 年 1 月 31 日（金）	午前 10 時～11 時 30 分
場 所	いずみホール	会議室
参加者	市民 5 人（男性 0 人 女性 5 人）	

### 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料「平成 24 年度国分寺市立図書館の状況」に基づき説明。

本多図書館で月曜祝日及び振替休日の試行開館の実施。

小平市との相互利用を平成 25 年 11 月 1 日より開始。

障害者・高齢者サービスとして大活字本・拡大読書機の提供。

「教育7DAYS」期間中の11月5日～10日に「家庭読書の日」を設け、「としょかん福袋」（幼児用絵本3冊セット）を貸出。

## 2. 障害者サービスについて

図書館：図書館では、障害者サービスを行っている。声の図書といって、以前から目の不自由な方に朗読したカセットテープの貸出をしていたが、最近ではDAISY(デイジー)というCD盤も貸出している。郵送でもご利用いただける。大きい活字の本も用意しているが、もとまち図書館と光図書館には拡大読書機があり、全館に置いてほしいという要望もいただいている。

意見：拡大読書機は貸し出せるのか？

図書館：貸出できるほどコンパクトではない。できれば、より多くの方にご利用いただきたい。ご高齢で目が不自由になってきたというような方にもお使いいただけるよう、工夫していきたい。

意見：点字図書は利用が0タイトル。障害者センターなどに案内を掲示してはどうか？

図書館：子どもの時から目の不自由な方は点字で読書ができるが、途中でなった方はなかなか点字を覚えられないので、利用が難しい。その場合は、音声での情報提供になる。

意見：子ども用の点字図書はあるか？立川市では、ボランティアの方が子どもの本を点字に打っているようだが。南多摩では、布の本を市民が作って、図書館に寄付するシステムもあるようだ。

図書館：市販されている本で点字の付いているものは何種類かある。触る本や布の本なども置いている。

## 3. 児童サービスについて

図書館：「子ども読書活動推進計画」に基づく事業を行っている。

意見：もとまち図書館の「おはなし会」に来てくれる子どもが少ない。資料には47回実施となっているが「市民グループによるおはなし会」も含まれた回数か？

図書館：開催数となっている。

意見：参加人数も載せると良い。せっかくボランティアに行っても、誰も来てくれないと虚しいので、もう少し図書館で工夫してほしい。以前はポスター等も作ってくれていた。三鷹市では「おはなし会」に来るとハンコを押してもらったり、葉をもらえたりするので、子どもたちが楽しみにしてい

る。回数をやれば良いのではなく、なるべく日程が重ならないよう工夫した方が良い。ボランティアを大事にしてほしい。

図書館：以前は学童保育所等からも子どもを連れてきてくれていたが、委託になってからは声をかけていない。

意見：近いのにもったいない。要請できないのか？

図書館：働きかけていきたい。

#### 4. 図書館資料長期延滞者に対する貸出・予約等利用制限について

図書館：本を借りたままなかなか返却されないことがある。2週間の貸出後、リクエストがない本については2週間延長できる。4週間過ぎても返却されない場合、期間を区切って新たな利用ができないように制限したい。

意見：何%ぐらいいるのか？

図書館：6%位。次にリクエストのある資料については電話、それ以外は2ヶ月程度でハガキを送り、督促している。うっかり忘れのケースが多いようで、督促すれば1%を切る。新システムの移行に伴い、メールでの督促も検討している。

意見：国分寺市はおおらかなので、大丈夫かと心配していた。

図書館：多摩地域26市のうち、21市が既に実施し、2市は今年度中には実施予定。国分寺市も来年度には実施したい。

意見：紛失も減るのではないか？12冊も借りるのか？

図書館：色々な利用があり、毎日2～3冊ずつ借りる方もいるし、絵本などは12冊借りる方もいる。

意見：貸出冊数も含め、利用条件を近隣市に合わせるという理由で良いと思う。

図書館：実施にあたっては、十分な周知期間を設ける。

#### 5. アウトソーシングについて

図書館：国分寺市では、図書館のアウトソーシングの導入を検討している。12月の教育委員会で諮られ、行革推進本部で検討を進めることになっている。これまで2回、直営で非常勤職員化を図っていくという運営方法について提出しているが、見直しを要求された。3回目は、本多図書館を直営、4館は業務の一部を委託するという内容。

意見：レファレンスは、いちいち奥から職員を呼んでもらうのか？

図書館：まだ具体的にどのような委託内容になるか決まっていないが、現在でも50%ぐらいの職員が司書資格を持っているので、委託する際もある程度は資格をもった職員をお願いしたいと考えている。

意見：委託になった場合、今いる職員が残るのか？今は、何も言わなくてもスタッフと対応してもらえるが、そうではなくなるのか？

図書館：雇用主や本人の希望にもよるが、正規職員は残るので、対応をさせていただきます。今でも臨時職員が担当を呼ぶ場合が多いので、それと変わらないと考えている。

意見：過渡期には職員の異動がないようにしてほしい。司書資格の無い職員や委託職員が一度にきたら混乱すると思う。司書資格をもった職員が50%というのは信じられない。委託だから質が下がるわけではなく、トップの考え方による。職員の質をもっと高めて、正規職員はもっとボランティアの対応をしっかりしてほしい。長年付き合った職員との関係こそが市民サービスに繋がると思う。

図書館：司書資格をもった職員が退職する年齢にきており、そのかわりに嘱託職員が入っている。今後も働きかけていきたい。

## 6. 図書館サービスについて

意見：国分寺駅北口サービスコーナー前にブックポストが設置され、とても便利だが、南口にもほしい。

図書館：図書館に設置されているブックポストはゴミ等を入れられることは少ないが、それでもタバコの吸い殻を入れられたりすることもある。図書館以外の場所に設置するのは、管理面や回収等の運営上厳しい。返却した・しないのトラブルもおこりやすい。

意見：開発ビルの1階通路にブックポストが設置されるということはないか

図書館：図書館としては要望していきたい。

図書館：本日いただいた図書館へのご意見については、今後検討していきたい。本日はありがとうございました。

## 平成 25 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（並木図書館）

日 時	平成 26 年 2 月 1 日 (土)	午前 10 時～11 時 30
場 所	並木公民館	講座室
参加者	市民 1 人 (女性 1 人)	

### 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料「平成 24 年度国分寺市立図書館の状況」に基づき説明。

本多図書館で月曜祝日及び振替休日の試行開館の実施。

小平市との相互利用を平成 25 年 11 月 1 日より開始。

障害者・高齢者サービスとして大活字本・拡大読書機の提供。

「教育 7 DAYS」期間中の 11 月 5 日～10 日に「家庭読書の日」を設け、「としょかん福袋」（幼児用絵本 3 冊セット）を貸出。

## 2. 図書館資料長期延滞者に対する貸出・予約等利用制限について

図書館：図書館資料を長期延滞している利用者に対し、貸出・予約の制限をすること考えている。返却を促し他利用者の利便性を図りたい。ご意見を伺いたい。

意見：期限内に本を返却することは当たり前で常識的なことなので賛成。ただし、紛失してどうしてよいかわからず困っている子どももいるので、貸出する際、紛失時の手続き方法を図書館が知らせる工夫がいるだろう。カウンターに掲示するのもよい方法。電話口やカウンターでの言葉だと強く感じられてしまう可能性もある。

図書館：メールでの督促も考えている。貸出日から 28 日を目安にさらにその 2 週間後から制限を行う予定だが、他の懇談会では制限を設ける根拠がなくなるので、延滞直後から制限したほうがよいというご意見も頂いている。図書館として考えていきたい。

## 3. 利用者懇談会について

意見：図書館は自動貸出機で利用できればよい、という流れの中で、図書館のあり方などには意識が向かない。利用者懇談会に呼び込める層としては、子育て中の母親や高齢者になるのではないか。たとえば新聞の閲覧テーブルにポスター・チラシを立てて、「どうぞお出かけください。お茶の準備もあります。」と呼びかける。第一線を離れて新聞を読みに来ている様な人たちの声を拾うアイデアが必要なのではないか。

図書館：サロンのような雰囲気作りをするなどが必要だと考える。

意見：「利用者懇談会」だと意見を出さなくてはならないと思ってしまう。夏休みなど閲覧机に集まっている子どもたちに声をかけて、冷たいものを飲みながら「図書館どう？何かしてほしいことある？」など語りかけたほうがよいのではないか。「来て貰う」のではなく、普段使っている場所に図書館が入って行って平言葉（ヒラコトバ）で聞くほうが聞きやすいのではないか。

図書館：公民館と異なり図書館の利用は個人利用であり、本や新聞を読めればよ

いという個人の利用者に懇談会に来ていただくのは難しい。ふらっと来ていただく方のご意見が貴重なのだが。

#### 4. 図書館サービスについて

意見：電子書籍が出回って、図書館という建物、部屋のある意味は何かと考える。電子書籍を活用している人たちも、引退し時間に追われなくなると図書館の価値を見出していくのではないか。人とのふれあい、自分の時間をかみしめて過ごすことの意味や楽しみを提供するのが図書館ではないだろうか。

図書館：電子書籍の良さがあ、ブラウジングすることで本や人と巡り合う図書館の良さもある。必要なものをピンポイントで探すならインターネットが適している。

意見：図書館は高度な施設だ。複雑で高度なものを欲する人間が減ってしまうと図書館は萎んでしまう。紙の本が橋渡ししていく、とても複雑な所を理解してお互いに楽しむ、そのようなことを満たすのが図書館のサービスだと思う。廃れていってほしくない。時間短縮で借りられればよいという利用者と共存してよいと思う。

図書館：乳児を連れた母親や、会社勤めを終えた世代が地域に身を置く最初の一步が図書館だと思う。ゆったりと場所に身を置ける施設として高齢者に提供できるといい。国分寺は各図書館が小さくて難しいところだが。

意見：玄関にゲートを設けて、公民館にも本を置いて建物全体を書架にしたらどうか。

図書館：武雄市の図書館がお茶を飲める場所もあり話題になっている。本多図書館には公民館と共用のラウンジがあるが本を読むには少し騒がしい。

意見：利用者に選択肢があってよい。静かな環境がよい人は図書館のブラウジングコーナーに行って読めばいい。公民館の映画会で本を紹介したらどうか。職員が公民館か図書館か、どちらの立場で行うかは難しい。ボランティアを活用したらどうか。国分寺市は市民意識が高く、学校が募集するとすぐ集まる。市民の活用を考えてもよいと思う。

図書館：他市との相互利用でも国分寺市民は積極的に他市の図書館を利用している。

意見：国分寺市の図書館は中学校区に1館という地区館体制でよかったと思う。身近に地域の図書館・公民館があるのが良い。自分の図書館という意識になる。

図書館：次の課題としては大きい図書館の設置だ。現在は施設の狭さに制限されているサービスがある。第一期運営協議会でも指摘されているが、現

行のサービスの上に中央館を考えていかなければならない。恋ヶ窪図書館が開館して40年、時代・環境も変わった。この先10年の間には組み立てていかなければならないと考えている。

意見：徒歩圏内で自転車でも通えるところに図書館がある、こんなよいところはない。自分は子どもの時から図書館が好きで、図書館に行くと幸せだった。図書館はそういう利用者を増やしてほしい。

図書館：学校図書館も図書指導担当が全校に配置され、充実してきた。地域ごとに学校と公共図書館がうまく連携をしていけたらいいと思っている。

意見：「子ども読書活動推進計画」が出来てずいぶん進んできている。

図書館：子どもの読書や地域の情報を地域の図書館が収集し発信していくことが必要だと思う。また、障害者サービスの枠にとらわれず、読書困難な方に適した形態での読書サービスを提供することが大切だと思っている。

## 5. おはなし室利用の活性化

意見：おはなし室でおはなし会を行っているが、おはなし会以外に利用がないともったいないと思っている。近所のお年寄りが子どもたちに自分の体験談を語って聞かせるようにできるとよいと思ったが、それ以外でも何かに活用できないか。入口が狭いので、おはなし室の鉄扉を常時開けておくのはどうか。

図書館：ここも図書館の一部だとわかる絵本の展示などをして、ここも利用してよい所だとわかるとフローアとの一体感が持てる。

意見：「面白い紙芝居があるから使ってください」などの掲示をして、利用者がおはなし室に入って来ることが通常になるといいと思う。

図書館：管理上鉄扉を開放することは出来ないが、フローアとの一体感を持たせ、自由に利用できる空間と認知してもらうことは良いことだと思う。

図書館：フローアの丸い柱に貼ってある恐竜のポスターを親子で見た後、恐竜の絵本を借りていく。おはなし室にそういうポスターを貼るのはどうか。

意見：電車のポスターや魚偏の漢字クイズを貼るのはどうか。「〇月〇日〇時から部屋のアレンジをしますので、手伝ってください」と呼びかけてはどうか。図書館が面白がってやれば人は集まる。何かするならお手伝いするので声をかけてほしい。

意見：ツイッターでは意見を出せるのか。

図書館：図書館ホームページには意見がたくさん入って来る。ツイッターではリツイートできない。

意見：インターネットで寄せられる意見で建設的なものはどれくらいあるのか知りたい。本人の独自の立場から一方的にものを言うだけなので、返答に



困ることも多いのではないか。対話の中で相手のことを押し量りながら言う意見から建設的な意見を拾っていくことが必要だ。ツイッターで図書館がつぶやくところから利用者の意見を拾ってつなげていくのが建設的だと思ったが、リツイートされないとわかり難いことが分かった。

図書館：インターネットに寄せられる意見は片側通行で匿名性があり対処するのが難しい。対面による言葉のやり取りで簡単に済むことでも、文字にすると固くなったり強調されてしまったりで難しい。

意見：電子機器の発達による便利さが、「話す」ことにつながらない子どもが多くなってきた。「サービス」は人を退化させる。特に教育にかかわる「サービス」は必要ない。

図書館：行政サービスの一セクションとして図書館は利用者に寄り添う意味で「サービス」という言葉を使っている。

意見：子どもを商業ベースに乗せすぎで、経験値は高いが子どもの創造力が育たない。10歳くらいまでの子どもには純粋な遊びをさせたいと思う。

図書館：本日いただいた図書館へのご意見については、今後検討していきたい。本日はありがとうございました。

## 平成 25 年度 国分寺市図書館利用者懇談会（本多図書館）

日 時	平成 26 年 2 月 7 日（金）	午前 10 時～11 時 30 分
場 所	本多公民館 集会展示室	
参加者	市民 1 人（女性 1 人）	

### 1. 国分寺市立図書館の現状等について説明

配布資料「平成 24 年度国分寺市立図書館の状況」に基づき説明。

本多図書館で月曜祝日及び振替休日の試行開館の実施。

小平市との相互利用を平成 25 年 11 月 1 日より開始。

障害者・高齢者サービスとして大活字本・拡大読書機の提供。

「教育 7 DAYS」期間中の 11 月 5 日～10 日に「家庭読書の日」を設け、「としょかん福袋」（幼児用絵本 3 冊セット）を貸出。

### 2. 図書館サービスについて

意見：公民館も同様だが、学習スペースを必要としている方がいる。新駅前分館に、そのような場所をつくれませんか？

図書館：新駅前分館は160㎡の予定であるため、そんなに多くは無理だが、自由に使えるスペースを多少でもとりたいと考えている。

意見：そのようなところで、図書館を利用する意識が高まっていくのではないかと。小学生等は見学や訪問等で来ているが、個人的に利用したい時のスペースが必要。高齢者は過去に図書館を利用してきたから、今もよく利用されているのではないかと。

図書館：机は取り合いになるため、新システムの導入に伴い、今後は貸出制にすることも考えている。現在は、図書館の資料を見るためだけに使用してもらっているが、時間やスペースを区切って、学習にも利用できるようにしてはどうかと思う。今は居場所づくりも大事。

意見：昼と夜の時間帯をうまく活用するというのも1つの方法。

図書館：中高生や若い世代を図書館に引き込む力が今は無い。今後、どう取り込んでいくか、インターネットが使える席を設ける等、検討していかなければならないと考えている。

意見：「喫茶ほんだ」で働いている障害者に「おはなしポケット」でお話を読む機会をいただけた。複合施設の良いところをうまく利用し合っていければ良いと思う。

図書館：最近では、喫茶や本屋が付いている図書館が話題になっている。現在は、図書館の外への資料の持ち出しを禁じているが、今後「喫茶ほんだ」の空いている時間帯に、図書館の本や雑誌を読める方法を考えていきたい。

意見：お茶を飲みながら本を読みたい方が「喫茶ほんだ」へ来て、学習したい方が図書館を利用できるようになれば良いと思う。

図書館：利用者が選択できるようになれば良い。

意見：そうすることによって、障害者の仕事も増える。行政は障害者が安心して働ける場所なので、図書館が委託管理になった場合、受け入れてもらえなくなるのが心配。

図書館：図書館はサービス業のため、臨機応変な対応が必要。障害者に本を棚に戻してもらうことはできると思うが、利用者に本の場所等を聞かれたりするのでは負担が大きいのではないかと。今後の課題として考えていきたい。

図書館：本日いただいた図書館へのご意見については、今後検討していきたい。本日はありがとうございました。